

江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第2回会議会議録

- 1 日 時 平成25年8月7日（水） 19時から21時27分まで
- 2 場 所 鴨川市役所 7階会議室
- 3 出席者
 - (1) 江見3地区学校施設等統合整備検討委員会委員
委員長 久保 正二、副委員長 斎藤 剛
本吉 淳二、庄司 里美、安西 孝之、石渡 嘉一、山口 眞一、川上 一之
佐粧 等、若月 由実、原 由美子、中村 貴生、八代 栄、長谷川 裕一
松下 綾子、山口 裕伸
 - (2) 市出席者
教育長 野田 純、教育次長 蒔苗 茂、学校教育課長 前田 恵美子
福祉課長 羽田 幸弘、学校教育課課長補佐 長谷川 幹男
福祉課課長補佐 石井 宏子、学校教育課総務係長 唐鎌 孝行
学校教育課学校環境整備係長 桐木 勝、福祉課児童係長 安田 勉
学校教育課主任技師 鈴木 一雄
株式会社榎本建築設計事務所（風戸、岡村）
- 4 次 第
 - 1 開 会
 - 2 教育長挨拶
 - 3 議 事
 - (1) 江見3地区学校施設等の施設整備（案）について
 - (2) その他
 - 4 閉 会
- 5 会議内容
別紙のとおり
- 6 会議の傍聴者等
傍聴者 3名

1 開 会

(午後7時開会)

(配付資料の確認)

唐鎌学校教育課総務係長

本日の会議ですが、現在のところ委員の出席者は15名であり、過半数となっております。委員会設置要綱第5条第2項の規定により、過半数の出席がありますので、会議を開催いたします。

また、会議につきましては前回同様、公開とさせていただき、会議録作成のために録音をさせていただきますのでよろしくお願いします。

本日は、会議の傍聴を希望される方が3名お見えになっております。

それでは、ただ今から江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第2回会議を開会させていただきます。はじめに、野田教育長からご挨拶申し上げます。

2 教育長挨拶

野田教育長

普通であれば、お仕事の後で、ご家庭でくつろがれている時間帯かと思いますが、夜の会議にもかかわらずご出席いただきましてありがとうございます。

8月に入りまして大変暑い日が続いております。日中の暑さはもちろんですが、寝苦しい夜も続いております。体調管理には十分気をつけていただきたいと思います。

さて、本日は第2回会議を開催させていただきました。前回会議では検討委員会の大きなスケジュールについて、そして幼保一元化施設の建設場所を旧江見中学校グラウンドということをご了承いただいたところでございます。

また、第2回、第3回の会議では施設整備に関して集中的に検討を行っていくということをお示しさせていただいたところでございます。

本日は、事前にお配りさせていただいた施設整備計画案について皆様方からご意見を頂戴し、設計に反映させていこうという趣旨でございまして、今回は設計事務所の担当者にも出席していただいておりますので、どうぞ活発な意見発表をお願いいたします。

皆様とともにより良い施設を造り上げて参りたいと、このように考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、甚だ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。

3 議 事

久保委員長

それではただ今から、議長を務めさせていただきますので、皆様ご協力よろしくお願いします。また本日の会議につきましては、お手元にお配りしてございます会議次第に沿いまして、進めさせていただきますので、ご了承をお願いします。

次に本日の会議録の確認をしていただく委員を決めさせていただきますが、本日は庄司委員を指名させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

それでは議事に移らせていただきます。

まず、議事の(1)江見3地区学校施設等の施設整備(案)についてでございます。

今回の議題につきましては、事務局から事前に資料の配付がありましたので、委員の皆様は施設整備計画案をご覧になってきたかと思いますが、始めに具体的な内容等について、施設別に事務局に説明をしてもらいます。

まず、統合小学校、次に幼保一元化施設について見て参ります。その後に説明に対する質問や、皆さんがまとめてきた意見等について伺っていきたくと思いますのでよろしくお願ひします。それでは事務局に説明を求めます。事務局お願ひします。

長谷川学校教育課課長補佐

前回会議で、統合小学校の施設につきまして、資料4にて各教室の配置状況を説明させていただきました。

今日は事前にお配りしました資料について意見をいただければと思います。この会議に設計事務所の担当者が出席しておりますので、紹介させていただきます。

榎本建築設計事務所取締役設計長の風戸さんと担当の岡村さんです。

榎本建築設計事務所 風戸氏

風戸です。よろしくお願ひします。

榎本建築設計事務所 岡村氏

岡村です。よろしくお願ひします。

長谷川学校教育課課長補佐

それでは資料について、設計事務所から説明させていただきます。よろしくお願ひします。

榎本建築設計事務所 風戸氏

お手元の資料の内容を説明させていただきます。こちらの平面図、1階のページが開いているかと思いますが、まず黒い字で書いてありますものが、旧中学校の図です。赤い字で書いてありますものが小学校への改修提案と、併せて書いてあります。

1階では左の方が、1年生教室と特別教室が1つ。あとは小さい部屋がいろいろあります。後ろの特別教室棟ですが、理科室が今は2つございまして、こちら右側を家庭科室に改修したいと思います。

基本的に改修内容は、まず耐震補強、こちらが第一になって参ります。あとは、内外装。基本的には予算があるので、全部改修できないのですが、なるべくリニューアルしていきたいと考えております。特にトイレ関係です。こちらはかなり老朽化が進んでおりますので、トイレにつきましては全面改修を考えています。

それから建築基準法的な話になるのですが、こちらの施設は旧中学校でございまして、階段1段の高さが通常18cm以下となります。この高さが、小学校ですと16cm以下にしなければいけないものですから、今後の土木事務所等の打合せによりますが、階段1段の高さが2cm違いますので、小学校仕様に合わせて全面改修をしなければならぬかと考えております。これが1階の主な改修内容になります。

続きまして2階の方へいきます。2階は、3年職員室を2年生の教室に改修したいと思ひます。隣の普通教室を少人数教室、もう1つ前の少人数教室を特別支援教室に改修したいと考えております。

それから後ろの方、特別教室棟ですけれども、現在の調理室を少人数指導室へ、真ん

中にあります準備室を相談室へ、被服室を少人数指導室と会議室兼用部屋に改修することを考えております。

図面下に移動しまして、廊下を渡っていきますと、黒い字で相談室と記載してありますが、これは間違いでございまして、実際は黒い字は資料室であり、今度は相談室に改修したいと思います。

南のグラウンドの方は、会議室が学童教室へ、多目的図書室がリニューアルという形になります。

続きまして3階の方へお願いします。左の方から、2年生の旧職員室を6年生教室へ、右へ5年、4年、3年という形で教室が並びます。さらに右にいきまして、生徒会室が児童会室へ、特別教室棟になりますが、美術室が図工室にという形です。教室については以上になります。

それでは、図面だけでは分かりづらいかと思ひまして、模型を作って参りました。ご覧ください。水色のところが旧江見中学校の校舎という形になっております。あとで幼保一元化施設の説明になるのですけれども、こちらのあたりに建物を想定しておりますので、残ったグラウンドは150mトラックの形で残ると考えております。

こちらにロータリーを配置、このような形で考えております。以上です。

久保委員長

ただ今、事務局から施設整備案についての説明がありましたけれども、説明内容に対する質問や要望・ご意見がありましたら、伺いたいと思います。

中村委員

この資料を見ると1年生が2クラスありますね。それなのになぜ2年からは1クラスになってしまうのですか。1年の時は2クラスで、2年に上がった場合は1クラスに詰め込むということですか。

蒔苗教育次長

通常は、いわゆる40人学級ですので、1学年が41人になれば2クラスになります。国の方できちんと教職員も付けてクラス編成できるのですけれども、同時に国の方からこういうことも言われております。38人あるいは35人と。

これは、1年生に限っては、40人に満たなくても、幼稚園から小学校に上がって、適応等のこともありますので、弾力的にクラス編成は市教育委員会に任せられています。従って教育委員会としても統合を迎えるということで、1年生については40人に満たないのですけれども、2クラスで迎えたいと考えております。

そして1年経って2年生になった時に、40人未満ですので、1クラスにするかどうか、これについては様子を見ながらまた検討していきたいと思っております。

今、ここでお示しするのは、あくまでも平成27年度開校に向けての案でございまして、このように取り組んでおります。

八代委員

先に資料を頂いていたので内容は見ましたが、これに関する基本構想とか、今現在、こういったことで必要な状況にあるのでこういう部屋を何部屋造りますというようなことをまとめた一覧表のような資料を頂けないでしょうか。

例えばここに準備室とあるのですが、準備室は理科室と家庭科室のどちらのための準備室なのか。また、少人数部屋とは、何に使うのものなのかをもう少し具体的に教えていただきたいと思ひます。

蒔苗教育次長

全てお答えできるか分かりませんが、少人数指導の部屋については・・・。

八代委員

ごめんなさい。まず、先に基本構想を教えてもらっても良いですか。このために1年生が1階にあって、2年生が2階にあるという考えを知りたいです。

私は図面を見て、学校の設計に関してはあまり知らないのですが、通常2年生は1階の方が良いのではないかと思うのですが、2年生を2階に上げた理由など教えていただけますか。

蒔苗教育次長

おっしゃるとおり1年生はもちろんなのですが、2年生、いわゆる低学年が1階にある方が理想的だと思います。けれども限られた施設を有効に利用していくことを考えた時に、1階の中に2年生の教室を設けることは少し難しかったというのが正直あります。

したがって2年生の部屋は2階にもっていった。あと少人数の部屋をいくつか用意いたしました。人数が20何人、あるいは学年によっては30人以上になるわけですが、いわゆる算数であるとか、国語であるとか、教科によっては、少ない人数に分けて教えた方が、内容によっては効果的だという單元もあるわけです。そのために、複数の少人数の部屋を用意して、教科によって、あるいは内容によって、小さい集団に分けた方が学習効率が上がるということもありますので、それに対応する形で、少人数の部屋をいくつか用意させていただいたということでございます。

あとは、今回この2階に多目的室と図書室に間仕切りがあるわけなのですが、このスペースもできるだけ利用度を上げるために、意図的に図書及び多目的室と設けております。

加えて、説明会でも申し上げてきたのですが、2階に学童教室を設けてあります。子育て支援ということで、この旧江見中学校の校舎を利用すると、学童の部屋も確保する。保護者の皆さん、共働きの家庭もたくさんいらっしゃいますので、これはあくまでも希望があればの話になりますが、そのためにこういう部屋も用意してあるというところでございます。以上です。

久保委員長

残りの質問は、ここにある準備室は理科準備室なのか家庭科準備室なのか。何のための準備室なのかですが。

八代委員

何のためにこの部屋を造るということを、一覧表のような資料にまとめることはできないのでしょうか。

蒔苗教育次長

おっしゃっていることは分かりました。一覧にしなごうら表のような形で、もっとわかりやすくということですね。

八代委員

少人数と言いながら2階調理室のこの大きな部屋は必要なのではないでしょうか。図面から見

ると、図書室が2階にあるからこちらに学童教室を用意していただけるのかもしれないのですが、父兄から見ると職員室に近い特別室棟の理科室のところへ、1階でそのまま平面移動した方が子ども達は行き来しやすいのではないかと思います。

蒔苗教育次長

今日は最初の設計案ということでお示ししましたので、今、おっしゃるとおりに、そういったご指摘をいただきながら、8月27日に次回会議がありますので、ご意見を反映させた形で、修正すべきところは修正して、第3回の会議で、再度お示ししたいと考えております。

ですからご意見をいただいて、次に活かしたいとこのように思っております。

それから、準備室ですが、1階のところに準備室がありますが、ご承知のとおり、今の江見小でも曾呂小でも太海小でもそうなのですが、こういう理科であるとか家庭科は、いろいろな器具等がございます。教室の中にこれらの器具等を置いておくと、子ども達が動き回るのでかえって安全面で難点があるのと、それからスペース的に教室の子どもの活動エリアが狭くなる。

したがってこの準備室を設けて、そこに収納する。そこから授業の時にいろいろな実験器具を出したり、あるいはいろいろな調理器具を出したりするというので、どうしてもこの準備室は必要不可欠ということになりますので、ご理解いただければと思います。

今の校舎の中でも、準備室はしっかりと確保されております。

久保委員長

それでは、今、教室の配置と使用目的について、意見が出ていますので、先生方の立場から少し意見を聞きたいと思います。本吉委員どうでしょうか。

本吉委員

配置のことで、私が見て気が付いたのが、2階にある学童の教室です。やはり、保護者の方がお迎えに来るということになると、1階にある方が良いのではないかと思います。それをまず1点考えました。

場所が職員室の上だと、どうしても階段を上がったことになると、1階にある方が都合良いのではないかとこの考えです。

それから、特別支援教室が1階と2階に分かれていますけれども、情緒とか知的の部屋だと思いますので、できれば並んでいた方が都合が良いのではないかと考えます。そのことが一番気が付いたところです。

また、グラウンド関係なのですが、グラウンドが校舎から遠いということになると低学年が大変です。本来であれば教室の前に鉄棒があったり、何かあったりしたほうが子どもたちは触ると思います。

遠くにあるので、グラウンドの設計の時に遊具の配置について、もう少し配慮してもらいたいということが気が付いた点です。

久保委員長

教室の配置、使用目的を中心に大分意見がありますので、その辺を中心に、庄司委員どうでしょうか。

庄司委員

今回は資料を事前に届けていただいたので、じっくり見ることができました。

やはり学童はできれば1階に設置できたら良いなと思います。そして1、2年生が繋がっていた方が、低学年の連携で、例えば生活科の学習などで連携がしやすいので、できれば1、2年生が一緒の階の方が良いのではないかと考えます。

それから、先ほど私が間違えたのかもしれないのですが、2階の部分の、資料室と相談室が逆で、相談室になりますとおっしゃっていたのですが、北側にも相談室が出来ているので、資料室も無ければいけないかと思えます。

実は、いろいろな教材教具を、算数だとかそういった教材教具をしまう場所がないといけません。相談室は一つあれば良いと思います。

それと高学年の子ども達が特にですが、体育の時に着替える場所として、更衣室が出来ていた方がありがたい。普段、これだけの人数の子がパッと着替えられる場所があった方が、いろいろな面で良いので、改修する中でどこかに設置していただければと思います。体育館に行って体育館の更衣室を使うという手段も実はあるのですが、できれば校舎内に設置していただけるとありがたいです。普通の学校はなかなかそれが設置できないものですから、例えば家庭科室に女子が行って着替えるとか、教室では男子がというようになることが実は多いのですが、その辺のことも、もしも組み入れられたらありがたいと思います。

ただ、少人数教室がこれだけありますので、そこをうまく活用するとか、細かいことはその学校の校長先生の判断で、できるかと思えますので、それは構わないとも実は思っています。

それから、理科室と家庭科室の間の準備室は、やはり理科の備品が多いので、家庭科の備品については、家庭科室に棚を設置してそこにしまう。理科の方が危ないものが多いので、この準備室は理科用にしたい方が良くと思います。確実にやった方が良くと思います。

また、校舎の配置だけではなくて、体育の関係で先ほど遊具の要望がありましたが、遊具の件をお願いします。

それから、外の体育倉庫をどこかに確保して欲しいと思います。以上です。

本吉委員

理科室と音楽室はこのままなのですか。

長谷川学校教育課課長補佐

かなり広いスペースがありますし、部屋はひな壇形状になっておりますので、それを基に活用したいと思います。

本吉委員

3階が音楽室で、1階に理科室が設置となるのですか。

長谷川学校教育課課長補佐

理科室は中学校の時には2教室あったわけですがけれども、小学校であれば1教室で充分です。ただ、実験台等の高さも違うものですから、入れ替えをしていければということで、1教室を考えています。

久保委員長

たくさん意見が出ましたので、少し確認したいと思います。

まず、教室配置について、私の記憶だと7点の意見が出たと思います。この後、これ以外にあれば教室配置について追加の意見をお願いしたいと思います。まず1点目は、

学童の部屋は1階の方が良いだろうという意見です。送迎の関係や、職員室が近くであるということ、これが1点目です。2点目は特別支援教室。1階と2階がありますが、並んでいた方が良いのではないかとというのが2点目です。3点目は、1年生、2年生は生活科等で交流が多いので、教室は繋がっていた方が良いだろうというのが3点目。4点目、この図面には資料室がない、資料室が相談室に変わるということで、相談室は2つになるのだけれど、資料室が1つ欲しいというのが4点目。体育時の更衣室について、少人数教室を含めて、児童の更衣室が確保できたらありがたいが5点目。6点目が理科室の実験器具等が多いので、準備室は理科準備室として活用して、家庭科の方は教室内の棚を利用したらどうかというのが6点目。7点目はグラウンドまでの経路が遠いので、グラウンドへの通路、遊具、あるいは体育倉庫の設置ということで、その関係で3点意見がありました。こういう意見が出ています。

先ほど庄司委員からありましたが、教室の造りが同じであれば、これは1年生の教室、2年生の教室、3年生の教室、その時の子どもたちの実態に応じて、それぞれその学校の職員で変えていけると思います。

例えば2階で少人数と特別支援教室、2年の教室とありますが、2年の教室が図面を見る限りだと大きいのですが、隣の少人数教室と特別支援教室は、部屋の大きさが同じなので、改修する時に造りが同じにしてあれば、普通教室に使っても良いし、特別支援教室に、あるいは少人数教室へと、いろいろな使い方ができると思うのですが、教室の中の改装の仕方について、教えていただけたらと思います。

長谷川委員

設計事務所に聞きたいのですが、大体これをこうやろうというのが、ある程度出ていますね。階段を直さなければいけないとか、耐震補強します。トイレは全面改修します。お金があればほかの事もしますということですが、今、この段階で大体いくらぐらい掛かるような感じなのですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

今、全体で4億4千万円位掛かると見えています。

長谷川委員

なぜそれを聞いたかと言いますと、この資料を頂いた時に、やはり中学校として使っていた施設であり、その当時の生徒の人数用に造られている建物なので、このように資料を見させていただいても、どうも何か使いづらそうだなと感じます。

1年生、2年生と教室はこうやっていけば良いのですが、4億何千万円と、それだけのお金をかけるのであれば、今ここにある建物を全体的に小さくした人数のもの、例えば、40年前の建物を耐震補強して、建物は補強するけど、ではコンクリートは何年もつのですかとか、躯体自体は何年もつのですかとか、そういった問題があると私は考えるのです。

せっかく大金掛けて改修して、何だか使いづらいよね、だけど無理やりやっていこうよと。今あるものを有効的に使っていくのは良いと思うのですが、それならば、皆が使いやすいだろうと想定されるものを新しく建設した方が良いかなと思います。

今、こういう会議をしている中で、こんなことを言うのはどうなのかと思われるかもしれませんが、例えば、今、4億何千万円と説明がありました。

そのぐらいだったら、今の人数に対応したものを、例えば鉄筋コンクリートではなくても、木造とか、そういったもので、体育館と柔剣道場はそのまま残して、児童の教室とかそういったものだけを建て替えるということではできないのですか。

野田教育長

新しい校舎を建てるということですか。

長谷川委員

その方が使いやすい。例えば大金掛けて改修するのと、建て替えても大して変わらなかったというのでは、何かもったいないのではないかと思います。

榎本建築設計事務所 風戸氏

よろしいですか。建て替えた場合ですが、大体この規模で建て替えると10億円以上掛かってしまいます。

長谷川委員

この規模の場合ですよね。

榎本建築設計事務所 風戸氏

どのくらい小さくできるかは、これからなのでしょうけれども、一応、この規模を建てると10億円以上、たぶん12億円くらい掛かると思います。

それとですね、コンクリート評価なのですが、これは事前にコア抜きと言いまして、調査をしておりますので、基本的には今の基準でも問題ないと思っております。その辺は安心していただきたい。

野田教育長

1階に1、2年生の教室をもっていくということと、学童の部屋は、ぜひ1階に欲しいということになると、学童を1階に配置した場合、低学年が1階に入ること、これは難しくなるという訳ですよね。

長谷川学校教育課課長補佐

仮に学童教室を1階にということであれば、家庭科室に改修を予定していたところを、学童にして1階にもっていきけるかと思えます。

当初、この案もあった訳なのですが、少し奥まった場所になるということで、学童の部屋につきましては福祉課と協議させていただいた中で、やはりグラウンドに面した場所が良い。ただ1階部分は職員室等で、ここにもってくることはできませんので、グラウンドに面した部屋ということになりますと2階になる。

ただし、その出入り、あるいは学童が開いていても小学校が閉まっている場合、セキュリティ等の問題もありますので、セキュリティ問題をクリアできるような位置に設置するというので、理科室の方が理想的だったのですが、あえて一番良いところである2階にもってきています。

また、外階段が少し狭いのですが、出入口があるということで、2階にはなるのですが、子ども達のグラウンドへの動線も昇降口を通らずに確保できるという意味で、2階に配置をさせていただいています。

ただし、1階にということであれば、家庭科室にもっていき、家庭科室を仮に調理室等に移動すれば、その辺は可能でございます。

野田教育長

江見小の校長先生が、東条小の時に学童保育を経験されていますが、その辺で何か発

言よろしいですか。

久保委員長

そうですね。東条小では、学童はどのような感じなのでしょう。

本吉委員

東条小では、校舎1階の一番端に学童の部屋があります。出入りにつきましても、校舎の端から入るので、職員室前であるとかそのほかの校舎の使用はないです。

ですから、土日についても、学童をやっている、セキュリティ関係はそのままという事で運用しています。

ですから私は、セキュリティ関係でも、万が一職員室前を上がっていくとかそういうことを考えると、1階で出入りが出来た方が、本当は良いというように感じています。

野田教育長

ただ、1階に学童を持ってくることは、構造上難しいですね。1、2年生の教室を並べることが出来なくなります。

石渡委員

それでは、理科室。家庭科室ではなくて、西側の部屋はどうですか。

長谷川学校教育課課長補佐

そちらですと、グラウンドに出るのに、裏を大回りして行かないと出られなくなりますので。

石渡委員

送迎が便利と考えました。グラウンドに遊びに出るよりも、保護者の送迎を考えると、左側の理科室の方が良いかなと思いました。

斎藤副委員長

1階に部屋が無いということですが、私が中学生の時に、1階の1年生の教室の廊下を挟んだ前の方に部屋があったと思うのですが、そこは使わないのですか。技術室だった所です。

長谷川学校教育課課長補佐

そちらは使えないです。

庄司委員

今度建てる幼保一元化施設の端に何か造るという案は出来ないですか。グラウンドにも近いですから。

または部屋を設けるという案、それは無理ですか。

野田教育長

幼保一元化施設に、学童の部屋を確保するという事ですか。

庄司委員

そうです。

羽田福祉課長

今、幼保一元化施設の所に、一緒に学童の部屋をというお話がございましたが、基本的に中で切り分けをする必要があるだろうと思っておりますが、可能ではないかと思えます。

それから、先ほど理科室のお話が少し出ておりましたが、理科室の方ですと、子ども達が校庭で遊んでいる時に、指導員が安全確認することが少し難しくなるのではないかと、そのあたりを少し危惧しております、教育委員会との話の中で、部屋から校庭が見える場所を学童の部屋として確保していただけないかという相談をさせていただいた経緯がございます。

久保委員長

学童の場所としては、幼保一元化施設の中も可能であるということですね。

前田学校教育課長

そのほか、学童の部屋として候補に挙げられますのは、1階の図面のところにあります柔剣道場を利用するという案も考えられるところがございます。

ただ、グラウンドで遊んでいる時に、目が届かないというようなところがありましたので、先ほどの2階のところを学童の部屋とする案を考えました。

セキュリティについては、外階段を使って出入りをし、学校が閉まった後でも出入りは大丈夫というように考えていたところですが、この件については、持ち帰らせていただきまして、また検討して参りたいと思えます。以上です。

久保委員長

学童の教室については、持ち帰って、また次回検討ということになりました。

それ以外でどうでしょうか。

蒔苗教育次長

確認ですけれども、1、2年生が同じ並びにあった方が良いという校長先生方のご意見、それは妥当なことだと思います。

次回、冒頭で言いましたように、今日頂いたご意見を受けて修正して、またご提示するのですが、1階の図面の中にあります特別支援教室、ここを2年生の教室にもってきて、そして2階の少人数という赤字で表記していますが、ここを特別支援の教室にする。そうすると知的と自閉、情緒の障害のクラスが2つ並びます。連携をとりやすくなります。

今日お渡しした資料で、2年教室となっていますところを少人数の部屋に変更と、このように考えることもできますので、この辺も含めて次回修正したものを改めて提示したいと思います。

先ほどの話を総合して、今ある中で入れ替えて調整すると、そのような案が考えられます。

久保委員長

1つ確認して良いですか。少人数の部屋とか特別支援教室とか、部屋の造りというのは、普通教室が、そこに入ることも可能な造りになっているのですか。

その時によって、いろいろ利用できるということですよ。

蒔苗教育次長

先ほどの話のとおりなのですけれども、今現在のそれぞれの小学校も、人数の移り変わりによって変わってきています。

20年前と今、教室の中の配置も変わってきていると思うのです。人数が増えれば、昔は会議室だったところが普通教室にもなっておりますし、逆もあるわけです。

ですから、例えば、今年度のうちに次年度の人数というのはもう大体分かりますから、校長先生が職員と話し合う。あるいはPTAにも諮ると思いますけれど、次年度の教室配置をどうするかと。普通教室だけではなくて、特別支援教室も含めてどうするかということを決めて、その裁量の中にありますので、今回決めたから、10年後、20年後もずっと同じだということではないということでご理解いただきたい。

川上委員

質問しても良いですか。多目的トイレというのは、いわゆる支援の必要な、例えば車椅子であるとか、そういう方でも利用出来るように造ってあるトイレのことを言うのですか。

長谷川学校教育課課長補佐

体育館には、多目的トイレがございますけども、校舎棟にも必要だろうということで考えています。

川上委員

多目的とはそういう意味ですね。それでしたら、先ほど2年生の教室を2階へ移しても良いというお話で、うまく接合できるというお話でしたけれども、そういう方のトイレは1階にある訳ですよ。教室を2階に持って行くと、2階にも多目的トイレはあるのですか。そういう時、移動などがまた大変なのではないかと思うのですが、その辺のところは、どうなのかと思ったものですから。

各階にそういう方がいるから、全階に造れないということですか。

やはり介添えの人が必要なのですよね。そういう場合は、1人でやれるのですか。

蒔苗教育次長

今までも車椅子を利用して授業を受けていた子どももいます。毎年いるとは限りませんが。

そういう子どもがいて、どうしても特別支援の学校ではなくて、地元の学校に通いたい。今そのように希望される親御さんも増えてきておりますので、そうした場合には先生方の中での補助もありますけども、場合によっては、障害の程度にもよりますが、その辺については、どうしても補助員を付けなければならないという状況であれば、教育委員会としても、そういう対応を考えていかなければならない。いつでもそういう用意はしております。

自力でその子がトイレに行けるのか、行けないのか。行けないとすれば、そこに補助が必要なかどうか。トイレだけではありません。学習面で教室の移動等もありますので、どうしてもこの子の為に補助員が必要ということであるならば、これは市としても対応していかなければならないと考えます。

久保委員長

その他小学校関係で、質問、ご意見がありましたらお願いします。

八代委員

小学校には、用務員がいると思うのですが、用務員の部屋はあるのですか。

長谷川学校教育課課長補佐

資料には、赤字では何も書いていないのですが、黒字の宿直というところが、中学校の時には、用務員さんの控え室になっておりました。ここがそのまま用務員室という形になろうかと思えます。

実際の勤務では、職員室の中にいらっしゃるのが主でありますので、用務員さんの休憩室的な部屋になるかと思えます。

久保委員長

その他小学校関係でどうでしょうか。

山口（眞）委員

今、お話聞いているのですが、図面を見て赤字でこうなる、ああなるとやっていますが、このことによって、部屋のスペース、それから構図そのものは変えるのですか。その都度、1年生の教室がここでなければならぬ、2年生がこうだ、特別教室がこうだと言っていますが、部屋そのものは、この会議室と同じで何も変えませんというのであれば、これは今ここで、そんなにむきになってやることではないのではないですか。

ただそのまま、校長が、ここは1年の教室に指定、2年の教室に指定とかというように決めていけば良いのであって、問題は今言ったような、トイレの問題がどうだとかそういう問題になってくるのではないですか。

私は、教室の配置が、2年生が上の階にいたり、下の階にいたりとかは、校長が決めて良いのではないかと思うのです。3年生だって2階に下ろしてしまっても構わないのではないですか。

そういうものを決めるのではなくて、全体的な問題として重要なポイントを絞って討議してもらいたいです。

これをやっても、いつまでたっても同じですよ。部屋が変わるのなら別ですけど、今のままを使うのだというのであれば、このままやっても同じじゃないですか。どこにもっていこうが、構わないと思うのですけれど。そういう考えです。

久保委員長

そのほかに小学校関係で、どうでしょうか。配置以外でも、かまいません。

本吉委員

先ほど榎本建築設計事務所から、改修の予算ということで、4億4千万円の説明がありました。

あと改修の主な内容ということで、耐震、内外装、トイレの全面改修、階段の全面改修ということで説明があったのですが、内外装というのは、どの程度のことを考えていますか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

外装からいきますと、今塗装が塗ってあるところはなるべく活かしながら、ほかのかなり汚れている部分は全面塗装ということを考えております。あと雨漏りとか防水関係ですが、その辺は全面的に直していく予定です。

内装に関しては、予算の関係がありますので全てを新しくはできませんが、なるべく

手を入れまして、塗装すると新築みたいに変わりますので、なるべく塗装して、汚いところは無いような形にして、リフレッシュしたような印象を受けられるような形で考えたい。

本吉委員

塗装だけですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

予算の絡みがありますので。

本吉委員

今の段階では、まだこれから出てくるということですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

そうですね。これからです。

野田教育長

特に学校関係で校長先生方、いろいろ話し合いをしているかと思いますが、新しい小学校の為に、こういうものが必要だというものを要望していただきたいと思います。

久保委員長

では内装・外装については、実際、現場の職員の方からいろいろ意見を伺って、要望という形で挙げていただきたいと思います。

野田教育長

特に3校統合しますので、そこで必要なものというイメージを持って、3校の先生方で話し合ってやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

久保委員長

それ以外でどうでしょうか。

石渡委員

耐震補強についてですが、十分にやってもらいたいと思っていますが、耐震補強をやった時に、長狭高校の例などを見ても、鉄骨が出ていて、見た目に格好悪いような気がしてしまいます。あのような形で耐震補強になるのですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

基本的には、そういう形になります。

野田教育長

鉄骨ブレースが入ります。実際にやったのは、最近では東条小学校、天津小学校がありますので、ああいうイメージになります。

石渡委員

ああいうイメージになるのですか。もうちょっときれいなイメージになる方が良かったかなと思います。

野田教育長

ただ長狭中学校と鴨川小学校は、それよりも前にやった工事ですから、あれとはまたイメージが違うかもしれません。

久保委員長

では一応、小学校関係の方は、了解が出たということで、また次回に持ち越したものについては、次回検討していくということにします。

一応ここで小学校関係は、終了したいと思います。

10分くらい休憩を取りたいですけど、よろしいでしょうか。5分でよろしいですか。

では、5分間休憩ということで、8時10分まで休憩します。

(休憩)

(再開)

久保委員長

それでは、全員揃いましたので、議事を進めていきます。次に幼保一元化施設について事務局から説明をお願いします。

長谷川学校教育課課長補佐

幼保一元化施設については、前回の会議において、資料6にて説明させていただき、園舎はグラウンドに建設することで了解をいただきましたので、今日は配置案の2案をお示しし、それぞれの案について意見をいただければと思います。

この案はあくまでもたたき台でありますので、今後の作業を進めていく中で建築規模等変更が生じますことをご了承いただければと思います。

それでは、園舎について説明をお願いします。

榎本建築設計事務所 風戸氏

まずA案の配置を見ていただきたいと思います。前回会議の中で、大体の位置を決めていただいたかと思いますが、その中で、職員室からグラウンドの死角ができないようにという話があったかと思いますが。

それで、斜め線になっておりますが、こちらのA案の中で、グラウンドとの分け目のライン、この位置を、職員室の角から引かせていただきました。グラウンドの死角ができないように、職員室からグラウンドが全部見渡せることができるようにということで、今回の幼保一元化施設と小学校のラインを引かせていただきました。

これはB案でも同じになりますが、1枚めくっていただきまして、A案の平面図を見ていただきたいと思います。

まず、いちばん左端に調理室がありますが、この位置は、当然ロータリーの位置が小学校の方から決まってくると思いますが、このような車の出入りのある施設は、小学校の昇降口などの、そういったところからなるべく距離をとろうということが基本的にあるものですから、こちらのロータリーのいちばん左端といいますか、建物の左端に車の施設を置きましょうということで、調理室の位置を決めさせていただきました。

A案の方位ですが、南東向きとなっております、基本的には良い向きになると思います。既存の中学校の校舎は、南向きですので、それよりは東を向いていますが、基本的にはかなり良い方位を確保していると考えております。

基本的に平屋建てですので、遊戯室がある方のかたまり、こちらは南東側に、2歳から5歳のメインタイプを取るような形で4部屋並べて、その裏側に、調理室、遊戯室を。地域子育て支援室は、直接外部からの出入りできるような形で一応確保させていただきました。

面積については、設計の理想的な考えが入って提示させていただきましたが、予算もかなり厳しい状況であります。一応ゆとりを持たせるとこのくらいになるかと思いません。右上の方に三角形があるかと思いますが、こちらはロータリーの方から、メインアプローチということでエントランスを通過して、屋外渡り廊下、模型で見ていただくと少し見づらいたが、ピロティと図面に書かれているところに屋根がかかっています。

外部なのですけれども、こちらを通過して、事務室、職員室が、玄関の突き当たり側の方にあるという形になります。事務室、職員室ですけれども、ここからグラウンドの管理をしやすい位置に配置してあります。

また、来客に関しましても、こちらからエントランス方向が見渡せるという位置、それから2歳から5歳までの部屋の中までもこちらの方から見渡せるような位置ということで、このように事務室の位置を決めさせていただきました。

事務室側には0歳、1歳の部屋、また少し離れますけれども、南東側に採光等が確保できるように、また、0歳、1歳につきましては、専用のテラスに手すりを設けることにより、子どもから目を離しても遠くに行くことができないような安全に遊んでいただけるテラスを確保できるように考えております。

部屋の方は、基本的に2部屋、例えば、4歳、5歳が1つのブロックになりまして、間にトイレを挟みまして、中で行き来できるようになっており、トイレまでの距離も近い形となっております。

A案については、平屋建てとなります。平屋建ては、火災等の安全面でも一番優れた形となっておりますが、ただB案と比べますと面積的には敷地がどうしても2階建てのほうが広く取れる。

園庭に面積が書いてありますが、基準が最低で500㎡程度となっておりますので、それよりは、当然広くなりますが、多少小さ目となっております。

構造の方は、基本的には、木造か鉄骨造を考えております。先ほど、学校の耐震の話がありましたけれども、一応こちらの建物ですが、通常の建物のレベルを1として基準にしますと、1.25倍の耐震基準を持つことになり、学校と同レベルの耐震基準をクリアした形で考えております。

内装につきましては、幼稚園、保育園と一体型で、保育園につきましては、建築基準法で非常に火災について制限が厳しくかかっていますので、当然それらをクリアした形をとっていきますが、床などはできるだけ木を使いまして、なるべく暖かい施設となるよう考えております。

できましたら遊具につきましても、明るく楽しいそんな建築を目指していきたいと考えております。A案については、以上になります。

続きまして、B案です。建物の位置につきましては、先ほどのおり、小学校の職員室の位置からラインを引きまして、死角ができないように考えてあります。

もう1枚めくっていただきまして、基本的な考え方はA案もB案も同じでございますが、違うところは、B案については、ここにもありますように1階に、2歳児、3歳がありまして、上に4歳、5歳の2階建ての造りとなっております。

子育て支援室については、別の形にしまして、学童保育の話もありましたが、別の形で提案させていただいています。模型を見ていただければわかるように、やはり子育て支援室関係で屋根がついて、そちらも外部空間になります。大雨ですと難しいのですが、簡単な雨ならば外で遊ぶことができるようになっています。そんなことも考えてござい

ます。

1枚めくっていただいて、B案の図面の方に吹抜とありますが、遊戯室は天井が高くなっているので、下とも連携ができるようになっており、階段、スロープを設置して移動というような楽しい空間になっております。建物の説明は以上になります。

久保委員長

ありがとうございました。ただいまA案、B案の図面について、説明がありました。質問がありましたら受けたいと思います。

松下委員

地域子育て支援室というものがありますが、この部屋はどういう目的で造るものなのですか。

羽田福祉課長

地域子育て支援室とは、基本的には、認定こども園を今、進めておりますが、将来、認定こども園をやった場合は、地域子育て支援のスペースが必要になるというようなものがございまして、このスペースをすぐに使っていくという形ではない状況ではございますが、今の保育園、通常の市内保育園では、地域の方たち、在宅でお子さんを育てている方たちに、開放日等に利用していただいておりますので、当分の間は、このような使い方をすることになりますが、将来的には、認定こども園に移行することを前提に考えた造りとなっております。

あくまでもこのスペースとは、在宅で育てていらっしゃるお子さんのためのスペースであり、恐らく子育てに関するご相談をするためのスペースとなります。

認定こども園とはどういうものかと言いますと、現在、国では、幼稚園と保育園を一体化した認定こども園というものを造っていきたくて考えています。

これを政策的に進めていこうと考えており、県内でもいくつかの認定こども園がございまして。認定こども園は、今鴨川市で行っております幼保一元化施設のようなこのようなイメージを持っていただければいいのかなと思います。ただし、国が進めている認定こども園というのは、3歳からの幼稚園教育、それから0歳から2歳のお子さんの保育を併せ持った施設ということを考えております。

現在、鴨川市では3歳の幼稚園教育はやっていないので、早急に認定こども園へ移行することはできないのかなということもございまして、将来そのようなことを進めていきます。

国は、平成28年度の4月から新しい法律の中で、認定こども園を目指していく予定ですので、その辺のことは今後、そのような方向になるかと考えております。以上でございます。

久保委員長

そのほか、どうでしょうか。

若月委員

江見地区幼稚園の教頭を務めております若月と申します。

今の認定こども園の話を知りましたが、まず、地域の方の希望としては、やはり幼稚園でも預かり保育を希望されると思います。預かり保育を希望されると、新しい施設です。預かり保育で、子どもたちを預かる部屋というのをとりあえず、今お話ししていただいた地域子育て支援室というのですか、そちらの方が使えるのかということが1

点です。

それからもう一つですが、当初というか、最初に頂いた案ですと、園庭と校庭が繋がるといった形での配置を見させていただきました。4、5歳児の子どもたちの活動を考えますと、こちらの希望になりますが、やはり園庭と小学校の校庭が例えばフェンスですとか簡単な扉くらいで繋がっているようなそういう設計ですと、子どもたちの活動の幅が大変広がると思います。

それから保幼小の連携も今、大分話があがっていると思いますが、そのような観点から考えましても、園庭というものが、限られた空間の中の設計ですと、このようになってしまうという感じを受けましたので、その辺はどうなのかということをお伺いしたいと思いました。

それから、屋根があるという説明をいただきましたが、このピロティとかエントランスとかですが、外廊下を通して食事、調理室で作ったものを、こちらの方に、この設計ですと1歳児などの食事、食べ物を運ぶわけですよね。衛生管理の面から考えて、調理室で作ったもの、または、給食センターで配分されたものに関しては、できれば建物の中を通過して、各クラスに届けられるようなそういうことを考えていただけたらと思っています。お願いします。

久保委員長

ありがとうございました。3点質問がありました。

榎本建築設計事務所 風戸氏

3番目と2番目の質問について、私からお答えします。

2番目のグラウンドとの境についてですが、私の説明不足もあり、申し訳ございません。A案の1階に、斜め線で書いてありますが、一応防球フェンスと書いてあります。前回の話し合いに、設計事務所は出ていなかったのによくわかりませんが、実際、小学生とかがよくボール遊びをされているかと思いますが、簡単にお子さんが出て行かれますとぶつかったりするといけませんので、一応ラインを引いたのですが、設計の考えとしては、できれば小学校との関係は逆に繋がっていた方が良くかと思っておりますので、防球と言うよりは扉の形にさせていただいて、行き来ができるような形を考えてみたいと思います。

それから、3番目の質問ですが、そうしますと、この土足エリアといいますか、エントランス関係のエリアでございまして、内部ではないのですが、先ほど言われました給食の配膳となりますと、中を通過するというので、実際は難しい形にはなるのですけれども、今後、設計の方で考えていかなければならないと思います。

野田教育長

園庭を繋げたいということですか。園庭が中ではなく、グラウンド側に園庭を設置したいということですね。

若月委員

そうです。園庭と校庭を繋げたいということです。

蒔苗教育次長

隔離をしないということですね。

若月委員

そうです。幼稚園の園庭を隔離するのではなく、小学校と繋がる形での園舎の向きと
いうのでしょうか、そのような配置ということは無理なのでしょうか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

つまり園舎の向きが逆ということですか。

若月委員

そうですね、希望としてはそう思います。

榎本建築設計事務所 風戸氏

前回会議に出席していなかったもので、このようにして欲しいのかと思ひまして、こ
の向きにしたのですが逆ですね。

野田教育長

逆ですね。園庭と校庭が繋がった方がいいという意見ですね。

要するにフェンスで仕切られていてもお互いに、小学生の遊んでいる様子を見て、保
育園児、幼稚園児も見て育つということですね。それから、小学生が園庭に来て、幼稚
園児と遊んでいくということもあると思われる。そのような意味ですかね。

原委員

よろしいでしょうか。太海保育園の原と申します。

幼小の連携、幼保の連携ということで園庭を考えた場合に、0歳、1歳の保育室の場
所があるのですけれども、フェンスの近くですが、こちらの側が、例えば、園庭になり
ますと、小学校の校庭にも行きやすいですし、この設計ですと、そういうことが1点考
えられます。

0、1歳児のところに4、5歳児の教室がきますと、幼小・幼保の連携が取りやす
くなると思いますが、今の5歳児の保育室がありますよね。5歳児の教室の並びに、0、
1歳児と、そういう向きは、立地条件からして可能でしょうか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

A案の話ですか。

原委員

A案の話です。それからもう1点ですが、職員室ですが、双方の子どもたちの様子が
分かるような位置、中心部にもっていくことは可能なのでしょうか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

それについては、一応、中心のつもりだったのですが。

原委員

立地の関係でこうなのかもしれませんが、2歳から5歳までの保育室が、現在、横に
並んでいますが、午後からの生活のリズム、生活の流れが、保育園側の流れと幼稚園側
の流れが、多少活動が異なる時間帯があります。

その場合に、双方がお互いにセーブしながら、活動を進めていくような形になりはし
ないかという不安が1点あります。以上です。

松下委員

付け足しがあります。幼稚園の対象が4、5歳児からになりますよね。そうすると、保護者の迎えが午後2時半頃になると思いますが、三角形のところからピロティを通過して、2歳、3歳の保育室の前を保護者がガタガタと通って、玄関に入ることになるのですけど。

野田教育長

分かりました。保護者がどこで引き渡すのかということですね。どこまで行くのか、遠いところまで連れて行くことになるのか、そういうことですね。

松下委員

そうです。4、5歳児でもお昼寝をする子としない子がいるので、別れてしまうのではないかと思います。そうすると、その辺がやりにくいのかなと思います。

久保委員長

実際に、幼稚園、保育園を運営していて、子どもたちと保護者の動きというものが見えていると思いますが、私たちには分からないので。この図でいくとどうなりますか。

野田教育長

つまり、子どもたちと親の動きをきちんと分かった上で設計していただきたいということですね。

八代委員

申し訳ないのですが、これでは使いづらいです。この動きで行くと毎日使いづらくて、人が入り組んで、子どもたちも多分、いろいろと集中できないです。

松下委員

2、3歳児がお昼寝をしている最中に、4、5歳児の親がお迎えに来てガタガタやっってしまうとこのようになるのですよね。

久保委員長

要望というか、こういう意見とか、こうすると良いのではないかという意見はないですか。

八代委員

幼保一元化なのですが、4、5歳児と0から3歳児という区分けはできないのですか。

野田教育長

いわゆる幼保一体型施設という所、既存の保育園に幼稚園を足した所は、そのようになっています。西条幼稚園です。あと小湊幼稚園。吉尾小学校を使った長狭こども園は、1階が保育園、2階が幼稚園となっています。

山口（眞）委員

話がA案でやっているのか、B案でやっているのか見えません。どちらかに絞って話しをしてもらえないですか。なんだか話があちらへ、こちらへと行ってしまって、申し訳ないけど聞いている方が分からないです。

久保委員長

今、これまでの意見はA案ということです。皆さん、A案の方が良いのでA案ということではなくて、B案もあるということをお願いします。

若月委員

保育園の先生たちとも話をしたのですが、基本的にせっかく新しく建てるのですから2階建てではなく、できれば平屋建てで考えていただきたいです。

先ほど、設計事務所の方もおっしゃっていましたが、安全面や何かを考慮した場合、正直、私たち頭の中には平屋しかなかったです。

ですから、平屋造りの方で話をさせていただきます。

建物がどういう方向が良いかというのはわからないのですが、例えば今ご覧になっていただいているA案で、事務室と0歳、1歳の保育室というのが場所を変えて、園庭側の方に動かせるかどうか。場所的なことや、敷地的なことというのは私たちにはどうもつかめないで、何とも言えないのですけれども、この棟の位置が例えば園庭側と交換できるかどうかというのを伺いたいところです。

園庭とこの棟の位置が変わると、グラウンドの広がりも見えますし、奥まったところで、0歳児、1歳児と遊ぶことが出来るのではないかなど、そのような考えでいるのですけれども、どうなのでしょう。

久保委員長

今のところ、A案ということで意見が出ていますが、B案含めてほかの方々どうでしょうか。

安西委員

建物は2つにしなければいけないのですか。2つに分けなければいけないものなのでしょうか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

1棟で出来れば良いのですけれども、図面を見ていただきますと、やはり南東側といいますか、南側のレーンを見ていきますと、部屋を並べていくと、先ほどの職員室から引いたラインから出てしまうものですから、それでこのように斜めに並べて、建物を2つに分けてですね、南面を多く確保しようというものでございます。

八代委員

保護者側から見ると、ロータリーをわざわざ歩いて、小学校の近くから入口があるのは、とても不便なのですが、駐車場に一番近いところから、入る方法はないでしょうか。

野田教育長

ロータリーの中は送りの車は入れなかったですね。駐車場に駐車して、親御さんが子どもさんを送ってくるのですが、そうした時に、出入口が遠回りになるのではないかとということですか。

八代委員

そうです。保護者が朝、あえて小学校を見る必要はないですし、子どもたちもバスが通るようなところをわざわざ歩いて入口を遠くするのではなくて、事務室を調理室の方

に寄せて、保護者はそこで終われるような形ができませんかね。

野田教育長

幼稚園児もバスで登園するのですよね。ですから、保育園の子たちはみんな送ってくるのです。

八代委員

幼稚園はバス通園にするのですか。

野田教育長

一応、今のところは。

前田学校教育課長

預かり保育を希望しない園児については、バスが利用できます。

八代委員

それでは、3地区から来るということですか。

蒔苗教育次長

そうです。

八代委員

幼稚園の子たちだけですか。

山口（眞）委員

4、5歳児でしょ。

松下委員

小学生と一緒にじゃなくて、幼稚園の子たちだけですか。

蒔苗教育次長

小学校とは、時間帯が違うので一緒のバスに乗るということはありません。

八代委員

それでは、小学生はバス停で降ろされるのですか。

山口（眞）委員

それはこれからの話だから、次回の話で。

久保委員長

玄関はなるべく近い方が良いということですね。

今、大きくA案とB案出ているのですが、平屋建ての方が良いということでA案が出ています。ほかの方はどうでしょうか。

まず、A案とB案では根本的に違うと思うのですけれども、設計に対して要望するにあたって、ある程度どちらかに絞って要望出した方が良くないかなと思いますが。

前田学校教育課長

本日お示しさせていただきましたものは、前回、園庭と校庭の区分について確認があり、小学校の子どもさんの動き等が心配というような声もありましたことから、このような案となり、小学校の方から子どもの動きが死角になるようではいけないということから、設計事務所の方にこのような案を考えていただきました。

それと、建物の向きにつきましては、採光・採風等を考えて提案をしていただいたところでございます。

ですけれども、この後、幼稚園・保育園の専門的な立場からご意見を改めて伺いまして、また設計事務所と先生方の意見をまとめたものを次回提案させていただきたいと思っております。

ほかにご意見があれば、伺いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

山口（眞）委員

なぜ0歳の部屋から3歳の部屋まで6名、15名、15名、30名と書かれているのですか。園児数なのですか。

羽田福祉課長

0歳からの人数の説明をさせていただきたいと思っております。

これまで、何人くらいのお子さんが実際に江見地区で保育園を利用なさっていたかというものを出示してみました。そして、その人数に基づいて、0歳は何人くらい保育園にいるというところから、出させていただいたというようなことになっております。

1歳児の15人も同様でございます。あと、1歳児、2歳児は一緒ということです。ただし、3歳児以降は、今の幼稚園の基準でいきますと、だいたい30名くらいが1クラスというような形になっておりますので、先ほど言った将来認定こども園ということを考えますと、3歳以降のお子さんについては同じスペースで用意した方が良いというのがありまして、30名というのを3歳児室のところに入れさせていただいております。30名のお子さんが江見地区で保育園を利用したという実績は、実はございません。実際の利用はもう少し少ないというところではございました。

山口（眞）委員

人数を入れてしまったら、先ほどの中学校校舎と違って将来的にも人数が絞られてまいりますよ。それは良いのですか。

羽田福祉課長

実はこの人数ですと端数が出るような人数でもありますので、定員の問題については今後検討させていただくということです。

ただ、この面積自体は、国や県が基準を出しているのですが、その基準に充分余裕のあるような面積としておりますので、定員を増やすことは可能です。

山口（眞）委員

だから、要するにここに人数を書かない方が良いのではないかと思いますので発言しました。

羽田福祉課長

一応そのようなイメージを持っていただけたらということではございました。

山口（眞）委員

一人あたり何㎡必要というのが決まっているのでしょうかけれども、私はそれが分からないからこの図面で見たら、6名で38㎡も必要なのかなという感じがしないでもない。人数の表記は削ってもらった方が良くもありませんね。説明は分かりました。

久保委員長

それでは、先ほど幼稚園の若月委員から、安全面等考えると平屋建てが良いということで意見が出ましたけれども、これからいろいろな要望を設計に反映させるという段階で、どちらかにやはり決めないと、設計もなかなか先に進まないということなので、その点についてご意見を伺いたいと思います。

松下委員

私も平屋の方が良いのではないかと思いますのですが、A案もB案も、ピロティはおしゃれで良いのですが、必要ないのではないかと思います。

これは一緒にしてしまっても良いのではないかと思いますし、その分、ピロティの分だけ部屋を広くできたらと思います。

久保委員長

とりあえず、2階建てか平屋建てということでは、平屋建てが良いということで意見がありましたけれども、どうでしょうか。

平屋建ての方で意見を反映させていくという方向でよろしいでしょうか。
(賛同する声あり)

久保委員長

それでは、平屋建てということを前提にこれから意見要望を出していくということで、今のところ玄関の位置とか、園庭の向きですとか、ピロティはもっと有効活用できないかという意見が出ています。

そういう意見がおそらく次の設計に反映されてくると思いますので、そういう観点からA案の方で、アイデア、ご意見等ありましたら伺いたいと思います。

山口（眞）委員

建物の延べ面積は、これしか確保できないのですか。1,204.48㎡。面積はこれしかもう出さないということですか。

長谷川学校教育課課長補佐

第1回会議では、概ね1,000㎡程度でというところで、お示しはしたと思うのですが、今回の案については苦慮しています。

面積が上がってくるということは、当然予算上非常に厳しいものがあるという状況でございます。

山口（眞）委員

今言ったA案で、向きを変えてどうのこうのとやっていると、いろいろと配置によっては延べ床面積1,200㎡が1,300㎡になってしまうかもしれないですね。

あくまでこれに絞るのかどうか。そうするとまた窮屈な配置になってくるのではないかと思います。

もう少し余裕を持たせて設計していただいて、どうでしょうかと言った方が良いでしょう。

はないですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

市の方からは、1,000㎡位までで収めてくださいと言われていたのですが、なかなか難しく、部屋が広がってしまいますね。

今のところ、1,200㎡で出しているのですが、この面積ですと、予算がかなり厳しくなってくるものですから、今後小さくする方向にもっていこうと思っています。

山口（眞）委員

なるほど、逆ですか。大きくするのではなくて、そういうことですか。要するに、建物の面積はこれからもっと縮小して、1,000㎡くらいに抑えてやるわけですね。

榎本建築設計事務所 風戸氏

一応その方向を目指しています。

山口（眞）委員

目指しているということですか。でも、同じグラウンド内なのだから、少くくらくくなくなってもなんとかならないのですか。建物の面積が縮小するのは構わない。それは予算確保ですから。

ただ、この園庭とその他の空き地は広げても構わないのではないですか。そうすれば、うまく何かできるのではないかと思います、その辺はお任せします。

久保委員長

今、山口委員から貴重なご意見をいただいたので、なるべく反映させてもらうということをお願いしたいです。その結果についてはまた次回で検討します。

そういう形でご意見があったらいただきたいと思います。

若月委員

最近、鴨川市でも保育園の職員、幼稚園の職員に、男性職員を採用していただいております。保護者の保育参加とか、保護者参観の中にも、お父様方の参加、またおじいちゃん方の参加が多くなってきています。

今までの既存の幼稚園ですと、女性用のトイレはあったのですけれども、男性用トイレが無いという状態でしたので、将来のことを考えてということであれば、男性用トイレを、どこかに入れていただけるようなことができますか。希望なのですけれども、お願いしたいと思います。

それから、先ほどの確認なのですが、地域子育て支援室というのは、当面は預かり保育室として、幼稚園の場合使ってよろしいということで、預かり保育の希望があれば、預かり保育室として使っても良いという方向で理解してよろしいでしょうか。

羽田福祉課長

地域子育て支援室、設計事務所から少しスペースが大き過ぎますという話をさせていただいたという経緯がありますので、先ほどの状態がこれからどうなるのかわからないのですが、仮にこのスペースがこのまま残るのであれば、当分の間は可能かと思いますが、地域子育て支援室としてのスペースも必要になってくる。随時空けておかなければいけないという状況も想定されますので、その辺との兼ね合いもあるかと思っています。

蒔苗教育次長

それでは、先ほどの男女別のトイレ、それから更衣室、ここに男女と明記はしていませんけれども、ご覧いただければ、トイレは2つ、それから更衣室も2つ確保しております。

おっしゃるとおりに、これから男性の幼稚園教諭が増えてくるでしょうから、その辺も考慮して、設計に反映させていきたいと考えておまして、この図面もそのようになっております。

それから、設計業者も先ほど言うておりましたが、本日、お手元に配ったA案。建物の向きを含めて、これについて、先ほど多くの方々から、ご意見等いただきました。

例えば、保護者の迎えに行く玄関。もう少し、遠回りせずに近い方が良いのではないかと、あるいは、部屋の配置。幼稚園児が帰るときに、保育園の子どもの場合は午睡している場合もありますので、その辺について、動線を踏まえ、使い勝手が良いようにもう一回これを見直してみます。そうすると、同時に園庭の向きも変わってくる。

それから、もうひとつはピロティになります。エントランスやあるいはピロティのベンチなども含めて、結構スペース取っていますけれども、こういうものよりも、使い勝手を優先する。全く無くすのかどうかは、ともかくとして、まず本当に使う立場になった時に、どういう配置等がよろしいかと、この辺について、今までいただいたご意見を次回に反映させて、お示ししたいと思っています。

ですから、まだ、ご意見がある方は言うていただいて、全部を反映させられるかどうかは別問題として、気が付いたところは言うていただいて、極力次回に反映させていきたいと、このように思っておりますので、よろしく願いいたします。

八代委員

別件ですけれども、幼保一元化施設も新しくなるということで、備蓄倉庫を携えて、地域の方々の防災の施設になると思うのですが、そういった面での配慮とか、太陽光発電を入れていただくとか、そういったことは考えていますか。

災害時の施設となるようなことはありますか。備蓄倉庫はあるのですが、地域の人たちがどのように使えるものになっているのですか。

前田学校教育課長

備蓄倉庫のことにつきましては、消防防災課にそういうご意見がありましたことを伝えて参りたいと思っております。

消防防災課につきましても、地域防災計画の見直しを今やっているところですので、地域からこのような意見がありました旨を伝えたいと思います。

長谷川委員

蒔苗次長も今言われたのですが、幼保一元化施設の方の親、子どもがどういった動線で来るのか。今、このA案の配置図で見ると、どこに車を置いて、どのように来るのかを考えてみます。

例えば、週何回かわかりませんが、子どもの布団を持って、子どもを2人連れて来るといった場合に、来る時間帯というのは皆さん一緒ですから、この市道を上がってきたところを横断して来なければいけないという状態です。

それで、小学校の方もバスを使うとなると、私はこのロータリーというのは、前回の会議でも出ましたけれども、本当に良いのかどうかと思います。ロータリーで使うスペースを、バスが来るときだけ、幼保一元化施設の方の送り迎えの人は使えませんか。

それであれば、ではバスはどうするのかと聞かれればわかりませんが、ロータ

リーではなくて、送迎専用の駐車場にするとか、できるだけお母さん方とかそういった人たちが不便にならないように、安全面で不便にならないような形となるように、その辺を少し考慮してもらいたいと思います。

前田学校教育課長

今の意見も、次回に反映して参りたいと思いますので、ご意見等ありましたら、ほかにも出していただけたらと思います。よろしく願いいたします。

蒔苗教育次長

ロータリーの件に関しては、他の委員の方々はどのように、今の時点で考えているか少しご意見をいただければと思います。

久保委員長

それでは、ロータリーについて皆さんどうでしょうか。

安全のためにバスの送迎に利用するという事で前回話がありましたが、実際の子ども達の送迎にはなかなか使えないということだったのですが、でも、それなら必要ないのではないかという意見があがりました。

安西委員

市道ということは、誰でも入って行ける道で、正門入った先の急坂も市道になっている。そこも、車が通っていいのですよね。

自由に出入りができて、関係のない普通の車がロータリーに入ってくる可能性も出てくると思うのですけど。

久保委員長

子ども達とは関係なしに、市道としてですね。

安西委員

変な人が間違えて入って来たり、1回そこで回したりする可能性もあると思うのですが、それでしたら、ロータリーは必要ないのではないかと思います。

久保委員長

ロータリーが無いほうが良いという意見ですね。

安西委員

無い方が良くと思いますし、上にも市道があるので幼稚園のプールの授業とかあると思うのですけれども、市道を渡ってプールに行かなければならないとか、そういう危険なこともあるのかなと思います。

その市道を、まずどうにかできないのかと思います。学校敷地内を市道が通っている時点でおかしいと思います。歩道も無いですし、路面もガタガタですし、そういうところも直していくものなのか、その辺のところはどうなっているのかと思います。

野田教育長

いずれにしても、今後の話し合いになるかと思いますがけれども、ロータリー部分にいわゆる送り迎えの車がいっぺんに入ってしまうと混雑してしまいます。それだけで危険性が出てしまう。

本来的にはバス以外はプール側の駐車場で降ろして、市道を渡るという形にせざるを得ないのではないかと思います。ロータリー部分にも一般の送りの車が入って良いということになってしまいますと、非常に混雑してしまいますので、今後の課題となってしまいうけです。

ただ、バスで来る幼稚園児、それから保育園児は、玄関で幼稚園の先生、保育士の先生に引き渡すということを考えて、引渡し場所ということで、中の施設のことをこれから考えて、設計の中に活かすということを考えていきたい。

送り迎えの車についてはまた別に検討できればと思います。

山口（眞）委員

ここでロータリー云々という話は、これを今日決めないと先の設計に何か影響するのですか。ロータリーが必要だ、いらぬという議論をして、今ここで結論を出さなければ、この設計をするにあたってこの先支障が出るのですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

ロータリーがないによりまして、おそらく幼保一元化施設の送り迎えの問題が出てくると思います。

実際、この面積からすると、幼保一元化施設の前には10台くらいしか駐車できませんが、それでも構わなければそういったスペースをとることにします。ロータリーの代わりに駐車場をとるということはできると思います。

山口（眞）委員

もし仮に、ロータリーがありますで進めていき、この後の会議でロータリーは必要ないとなった時に、何か支障が出ますかということを知りたいのです。

逆に今は無い前提で進めておいて、やはり必要だとなった時に何か支障が出てくるのですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

多少は出ます。

山口（眞）委員

設計の段階で多少は出るということですか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

位置が変わってしまいますので。

長谷川委員

入口が変わってきてしまいますからね。

山口（眞）委員

入口ですか。図面を見ると、今は草むらですね。市道ですよ、これどうなってるのでしょうか、よく分からないけれど、土手ですよ。入口は1つではないのかな。違いますか。このことによって入口が変わりますか。

野田教育長

いずれにしても、バスは必要だということなので、ロータリーは絶対に必要な

のでしょうか。

小学校だけではなくて、幼稚園にも必要。バスには必要だということで基本的に押さえておく。

山口（眞）委員

次長が言われるようなどうですかよりも、教育長が言われるように絶対必要だ、それが前提なのだとすることで話をされれば良いのではないですか。

どのようにやらなければいけないのだということを示していただければ良いのではないですか。

久保委員長

それでは、ロータリーについては、教育長の話にありましたけれども、どうしてもバスが回転しなければいけない場所ということで、必要なものであるということなので、これについては原案どおりにということです。

それ以外のもの、これから設計に反映できるものということでご意見をいただきたいと思います。

大分時間も押してきましたけれども、どうでしょうか。

長谷川委員

幼保の方が小さい子どもではないですか。小学校の子の方が大きい子なわけですよ。それであれば、一番近いところに小さい子を降ろしてあげた方が良いのではないですか。今の形だと、一番小さい子が遠いところから来る形になっていないですか。

野田教育長

まず、駐車場からということですか。

長谷川委員

そうです。駐車場からでないとも来ることができないではないですか。子どもだけでは、降ろせないですよ。

そういう時に、結局は今の話だと、おそらく小学校の方が人数が多いから、ここにロータリーを設置した方が良いということなのではないかと思うのですけど。

野田教育長

ロータリーを無くしてしまうと方向転換のためにバスがバックすることになります。非常に危険性がありますから。

長谷川委員

でも、バスの回転場は、例えばプールの方の駐車場ではだめなのですか。

野田教育長

バスのロータリーがですか。

長谷川委員

そうです。

八代委員

幼保一元化施設前の駐車場台数をもっと欲しいと思うのですが、それは増やせないのですか。プール側の駐車場の場所にバスのロータリーを造って、小学校の子どもたちが歩くのではダメなのですか。普段は先生方の駐車スペースなのですよ。

長谷川委員

私が一番言いたいのは、先ほども言ったように、小さいお子さんを2人連れてとか、その時には布団も持って行かなければならないとか、そういった送り迎えをされるお母さん方、多いですよ。そういった方々を一番安全で、近いところに配慮してあげた方が良いのではないかということなのです。

ですから、バスのロータリーが必要かもしれないですけど、それも加味した中で併せて一緒にやっていく形、ここにロータリーがなくてはいけないというのではなくて、そういったものも含めた中で考えていただいた方が良いのではないかということなので、何もかも反対しているわけではないのです。

野田教育長

今あるロータリーの部分以外にそういうスペースが必要だということですね。

久保委員長

あるいは、保育園の保護者とお子さんになるべく近くで施設に行けるような別の方法があればいいということですよ。

長谷川委員

別の方法があればいいかもしれません。

久保委員長

ロータリーに限定せずにね。

長谷川委員

できるかどうかわかりませんが、もしかしたら正門がここではなくても良いとか、もっとこちらに来れば良いのではないかと、そう言った考えができるかどうかわかりませんが、

中村委員

皆さんが言いたいのは、小さい子どもを抱っこして、布団を担いで、駐車場からずっと歩いて子どもを送りに来るのですかということを知りたいのです。

それならば、近いところに持ってきてくれた方が、設計の上で駐車場を近い位置に置いてくれた方が、親としては楽なのではないかと思います。

この設計案で行けば、一番小さい子は、ほかの委員が言ったように建物の位置が反対側になれば分かりませんが、今の時点では0歳児とか1歳児を抱えて、布団を持って駐車場からぐるりと回って、ピロティを通過してずっと行かなければいけないのですよ。ですから、そのところをもう少し考えてくださいと言いたいのだと思うのです。

野田教育長

ロータリーをバスも使うけれども、送り迎えの車が来て1回降ろす場所というスペースがあればいいわけですよ。バスの邪魔にならないような。ずっとそこに駐車するわけではないのだから。

八代委員

ロータリーが学校の目の前にある必要性が疑問です。

子どもたちが乗り降りする時間帯しか使わないものをここに造って、普段は閉めてあると言うのであれば、乗り降りする時間帯を先生方なりこの職員が駐車場の端にでも立って、行き来するのを1日2回見守ってあげた方が、どれだけ場所の有効利用ができるのではないかと思います。

ロータリーというだけで普段使えない場所だということならばどうなのですか。

久保委員長

いずれにしても、1番小さなお子さんの保護者とお子さんがたくさん荷物を持って危険であるという状況がないようないろいろなアイデアがあると思いますので、ロータリーの位置を変えると同時に、例えば時間帯がズレるということもありますし、そういうことで考えてみてはどうでしょうか。

野田教育長

時間帯を外せば可能なようにすればいいということこれから考えてもいいですね。

八代委員

そうですね。子ども達のところにバスが来るのは、小さい子達には反対に危険じゃないかなと思います。

本吉委員

昇降口の前になりますよね。ということは、休み時間でも子どもが出入りする。

送り迎えの時間というのが何時になるか分からないが、それと休み時間が重なれば、出入りの車と昇降口から出てくる子どもの動線が重なることも想定されますよね。そうだとすると、それを避けるような形で日程を組まないといけません。

久保委員長

そういうことで、検討していくということでよいかと思います。

蒔苗教育次長

駐車場のスペース、これ以上どうにかならないかというご意見もありましたが、結論から申し上げて、この図面に示してあるこのスペース、これ以上は考えておりません。この中で、今のような安全面、利用度といいますか、利便性というかそういうものを加味した中で次回ご提案をさせていただきますけれども、いろいろな角度から事務局としても検討いたしまして、今日の意見全てに沿うかどうか分かりませんが、次回お示ししたいと考えています。

久保委員長

そのほか、どうでしょうか。

本吉委員

次回が8月27日ですね。その次が9月の中旬ということで、これは決まっていない。先ほど、内装のことで学校からの要望をもっと言ってくれということだったのですが、夏休み期間中では先生方が集まらないです。9月になってから、学校で先生方の意見を

吸い上げたいと考えているのですが、3地区で管理職が集まって話し合いをするのが9月21日を予定していたのですが、そうなるくともっと早めに話し合いをしなければいけないと思いますので、もし日程が分かれば早くに教えて欲しいと思います。

前田学校教育課長

事務局の案といたしましては、8月27日が終わったのち、4回目を9月17日か20日頃で予定していますが、ご都合の方はいかがでしょうか。

野田教育長

本吉委員、1回旧江見中学校に行って、今の施設を見ていただきたいと思います。

本吉委員

わかりました。

前田学校教育課長

いかがでしょうか、もし特になければ。9月17日というのは火曜日になります。それか9月20日の金曜日になりますがどうでしょうか。

中村委員

20日をお願いします。

久保委員長

いま、20日という意見がありましたがいかがでしょうか。

庄司委員

20日は太海小学校の運動会の前日なのですが。

久保委員長

運動会の前日は厳しいですかね。

蒔苗教育次長

20日をお願いします。太海小では、運動会の前日ですが、でも夜までには準備も終わっていますから。

庄司委員

そうですね。もちろん大丈夫です。

久保委員長

20日でよろしいですか。それでは、9月については20日ということで、予定を入れておいてください。お願いします。

それでは、特に意見が無いようですので、以上で議題の(1)については終了したいと思います。皆さん方からたくさんの意見をいただきありがとうございました。

次回の会議で、今日出た意見について反映されたプランが提案されるのではないかと思います。よろしくをお願いします。

続きまして議事(2)その他に移ります。皆様から何かございますか。

中村委員

今日、話し合いをやって思ったことなのですが、設計士は設計のプロだし、先生方は教育のプロなのだから事前にこういうのを前もって話し合っていて、それで設計案を出していただいて、私たちはそれに対して疑問を投げかけるのが1番早いと思うのです。

今日のように先生方からも意見が出ました、私たちからも意見が出ましたと整理できなくなってしまっわけが分からなくなってしまうので、設計士と先生達が話し合っってこういう学校にしたいという案を持ってきてくれば、私たちも質問しやすいと思うのです。

その作業が何もできていないから、混乱してしまうので、その辺の対応をお願いしたいと思います。

久保委員長

わかりました。貴重な意見をありがとうございました。

八代委員

開催場所を、旧江見中とすることはできないのですか。

久保委員長

会議の場所ですか。

八代委員

はい。見ながら会議をやる。

前田学校教育課長

旧江見中をご覧になりたいというご要望ですので、皆様が良ければ8月27日、次回の会議を旧江見中学校でということも可能ですが。

山口（眞）委員

扇風機を用意してくれるのですか。

長谷川学校教育課課長補佐

旧職員室はエアコンが入っているのですが、スペース的にはこれほど広くはないです。

山口（眞）委員

窓を開けて蚊に刺されるよりも、ここの方が良いのではないですか。

前田学校教育課長

それでは、もしご希望があれば、会議の前の早い時間に現地を見ていただくことも可能です。8月27日のもう少し早い時間に見ていただくことができますがいかがでしょうか。午後4時からでしたら、外の様子も分かるかと思ひますし、皆様のご都合はいかがでしょうか。

安西委員

旧江見中学校へはみんなが行かなければいけないのでしょうか。

前田学校教育課長

都合のつく方で、ご希望があればということです。

蒔苗教育次長

今、課長が言ったように、旧江見中学校を見たいという方もいらっしゃるでしょうから、ご都合がつくか分かりませんが少し早い時間帯にその設定をしますので、ご都合のつく方はそこに集まっていたいで、校舎の中を見学していただく。

この会議は会議で、前回もいろいろ会場を回った方が良いのではないかと、いや同一箇所が良いのではないかとという議論もありました。当面同じにしましょうという結論も出たわけですので、会議はここ、そして事前に校舎を見学するという時間帯は、また同日の少し早い時刻を設定しますので、ご希望があればそれに集まっていたくと。そのような形にしたいと思いますがいかがでしょうか。

前田学校教育課長

それでは次回の会議のご案内ですけれども、ただ今申し上げましたように、現地をご覧になりたい委員の方は8月27日午後4時に現地にお越しいただきたいと思います。

また、会議につきましては、夜7時からこの場所で行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

久保委員長

それでは特に無いようですので、以上で議事の(2)は終わりにします。

山口(眞)委員

27日の前にはまた代案を皆さんに先に配ってもらえるのでしょうか。時間がないですけれども間に合いますか。

榎本建築設計事務所 風戸氏

なるべく頑張ります。

山口(眞)委員

先ほども話したように、先生方も入って設計をまとめてくれというのに、見て早くやってもらわないと大変でしょうから、もっと早めに出して。

そうでなければ27日を遅らせた方が良くもしいないと思いますが。

久保委員長

間に合うようにするというので大丈夫だそうですので、事前にプランはお渡ししてまた意見を持ってくるということにします。予定通りに会議案内と施設のプランが送付されると思いますのでよろしくお願い致します。

それでは、本日予定をしていました議事の一切を終了いたします。

以上で本日の会議を終了したいと思いますがお異議ございませんか。

(異議なし)

それでは進行を事務局に戻します。

唐鎌学校教育課総務係長

本日は長時間にわたり慎重なご審議をいただきましてありがとうございました。

以上で本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

本会議の内容を確認したので署名する。

平成 26 年 3 月 12 日

会議録署名人 庄司 里美